

別冊「3周年記念シンポジウム特集」の刊行に際して

社会保障研究所は昭和40年1月11日に創立されましたが、本年2月10日、本研究所の3周年を記念して、懸案のシンポジウムを開催することができました。

このシンポジウムは、社会保障の基礎的総合的研究を行う本研究所の事業の一環として計画されたものであります。従来、社会保障については、日本社会政策学会、日本社会福祉学会をはじめ多くの場で、すぐれた研究発表や討議が行われてまいっていますが、このシンポジウムは、これらに對抗して計画されたものではありません。むしろいろいろの学会や官界において、日頃から社会保障の研究に関心をもっている人々にお集りいただき、一堂に会して相互の意見交流を通じて、社会保障研究の発展に資することを目的としたものであります。

本特集はこのシンポジウムの報告・コメント・討論を、同日の速記をもとに取りまとめたものであります。報告については、報告者の先生方に改めて速記録に目を通していただき、正確を期しましたが、都留重人先生については、先生のご都合の関係で、編集部で取まとめを行いました。お許しをいただきたいと存じます。

なおコメント・討論については、時間の関係もあり、それぞれ先生方に見ていただくわけにはいかず、これらについても編集部でかつてにまとめました。この点について諸先生方のご宥恕をお願いする次第です。したがって思わぬ誤りなどがあるとすれば、その責は編集部にあるかと存じます。

社会保障研究は今後ともますます重要なものとなると考えられますが、できればこのようなシンポジウムを今後とも続けられればと存じています。何とぞ今まで以上のご指導とご協力をお願いいたします。

昭和43年5月

社 会 保 障 研 究 所

